

1 そう思う(A)

2 大体そう思う(B)

3 あまりそう思わない(C)

4 そう思わない(D)

精華幼稚園教育目標 : ひとり立ちする子		1	2	3	4	
		思う		思わない		
三つの重点	経験・体験の幅の拡大	【教師の営み】精華幼稚園は、子どもたちの遊びを広げ深めるために、種々の面で子どもたちの経験・体験の幅を広げさせようと試みている。	15	0	0	0
			15		0	
		【子どもの状況】子どもたちの遊びは、期待したとおりの広がりや深まりを見せてきている。	10	5	0	0
			15		0	
	人間関係調整力の伸長	【教師の営み】精華幼稚園は、子どもたちが人とふれあう機会を積極的に設定しようとしている。	13	2	0	0
			15		0	
		【子どもの状況】子どもたちは、臆することなく人とふれあうことができるようになってきている。	13	2	0	0
			15		0	
	聞く態度・聞き取る力の育成	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、意識して子どもたちに話を聞き取らせる工夫と努力を続けている。	14	1	0	0
			15		0	
		【子どもの状況】子どもたちの話を聞こうとする姿勢は着実に育ってきている。	11	4	0	0
			15		0	

教育目標具現に向けて育てたい八つの子ども像	1 自由遊びができる子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、子どもが自分で遊べるよう積極的に子どもたちの中に飛び込み、子どもたちに遊びを促す。	13	2	0	0
			15		0	
		【子どもの状況】自由遊びの時間、子どもたちはそれぞれに遊びを楽しんでいる。	14	1	0	0
			15		0	
	2 集団遊びができる子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、率先して子どもたちの遊びの輪の中に入り、遊びを盛り上げたり遊びの広がりや促したりする。	15	0	0	0
			15		0	
		【子どもの状況】子どもたちは外遊びを好み、友達と一緒に群れて遊んでいる。	15	0	0	0
			15		0	
	3 園行事に楽しく参加する子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、「主役は子ども」という姿勢で、行事に子どもの思いを反映させている。	15	0	0	0
			15		0	
		【子どもの状況】子どもたちは、一つ一つの園行事を心から楽しんで受けとめている。	14	1	0	0
			15		0	
	4 自分のことは自分でやれる子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、子どもたちが自分でできる可能性の限界を見極めながら、自分の手でできるようになるまで根気強く寄り添おうとする。	15	0	0	0
			15		0	
		【子どもの状況】子どもたちは、着替えや片付けなど自分一人でやり抜こうとする。	14	1	0	0
			15		0	
	5 美しくあいさつできる子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、朝と帰り、心を込めて声をかけ、子どもたちに挨拶の響きの心地よさを知らせながら挨拶のこだま返しを誘っている。	15	0	0	0
			15		0	
		【子どもの状況】子どもたちから「おはよう」「さようなら」の返りが増えてきている。	11	4	0	0
			15		0	
	6 美しくお話しできる子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、言葉を大切にしながら子どもの立場に立って分かりやすく話し、子どもの言葉をゆったりと受けとめて、思いをしっかり受けとめる。	13	2	0	0
			15		0	
		【子どもの状況】子どもたちは安心して「先生、あのね、」と話し出す。	13	2	0	0
			15		0	
	7 好奇心や探究心を抱く子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、社会事象や自然事象への遭遇(経験・体験)の広がりや求めて、積極的に園外保育に出かける。	14	1	0	0
			15		0	
		【子どもの状況】子どもたちの社会や自然に対する認識の広がりや、確かな歩みを見せている。	12	3	0	0
			15		0	
8 話を聞くときはきちんと話を聞ける子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、伝えようとするときは、子どもの一人一人の心に語りかけるように真剣に話している。	15	0	0	0	
		15		0		
	【子どもの状況】子どもたちは、教師の話に集中して聞くことができるようになってきている。	10	5	0	0	
		15		0		

